

# その いずみの園だより vol.60

2014.4.25

春季号



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。コリントの信徒への手紙113:13

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団  
中津総合ケアセンターいずみの園

## 基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする  
①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)

〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 代  
http://www.izuminosono.jp E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp



ケアマンション 聖愛ホーム

## 消費増税と社会保障制度

この4月1日、消費税が3%アップになり来年10月実施と併せて消費税は10%となります。増税となると時の内閣が倒されたり、選挙に負けたりと国民の反発は強いのですが、「今回の増税は全額、社会保障の充実に投入」と安倍首相はテレビの会見で答えていました。ちなみに諸外国の消費税(付加価値税)を見てみますと、独、伊あたりで19-21%、北欧の福祉先進国スウェーデン、デンマークは25%、お隣の中国が17%、韓国は10%です。

日本は現在、世界最先端の超少子高齢社会、人口減少国となっており、国では110兆円を超えた社会保障制度の抜本的見直しを進めています。そこで年金、医療、介護・福祉の3本柱に子ども子育てが4本目の柱として加わりました。税と社会保障の一体的改革論議から始まり、社会保障改革国民会議、内閣府規制改革会議、社会保障審議会などで熱心に議論が進められ、本年中に改革の方向性が出される予定です。

21世紀の日本の高齢社会を見据え、2000年に施行された介護保険は、行政の「措置」から自由選択の「契約」に変わった画期的な制度ですが、施行時の給付費3兆円が現在9兆円に達しようとしています。そこで国は、2015(平成27)年4月改定の第6期介護保険事業計画で「地域包括ケアシステム」を打ち出しました。高齢者の生活をこれまでの施設、病院から離れ、住みながら地域で最後まで暮らしていただくというシステムです。

介護と医療の連携を図り、予防、リハビリを推進し、買い物や通院、ヘルパーの生活サービスを充実させ、住まいも整備する。「介護」「医療」「予防」「生活サービス」「住まい」の5本柱を充実させて、高齢者が安心して暮らしていただく街づくりを行うというのが「地域包括ケアシステム」です。いずみの園では2010年、地域包括ケアシステムの鍵となる24時間ホームヘルパーサービス(夜間対応型)、寄り合いセンターいずみ(小規模多機能型居宅介護)を開始、地域包括ケアシステムの先駆的モデル事業となっています。



社会福祉法人九州キリスト教  
社会福祉事業団 理事長  
中津総合ケアセンター  
いずみの園 施設長

富永健司

# 2014年度 いずみの園基本方針

## ◆いずみの園ブランドの確立◆

消費税の増税による財政基盤の強化により、年金、医療、介護に子ども子育てを加えるなど社会保障制度の抜本的見直しが進められている。社会保障制度改革国民会議では医療と介護の機能の分化・連携を図るため医療法人制度、社会福祉法人制度の見直しを進め、特に、社会福祉法人の経営の合理化、近代化を求めている。厚労省の「社会福祉法人の在り方に関する検討会」（2013年12月16日）では介護保険法、障害者自立支援法施行、補助金改革の中で、利用者のサービスの選択の自由化や多様な福祉ニーズに対応するために社会福祉法人の大規模化、協働化が議論されている。事業規模が零細で再生産性や経営性に乏しい社会福祉法人の規模の拡大、多角化が求められ①本部機能の強化②法人の合併、事業譲渡③事業資金の緩和④複数法人の連携、社団化（ホールディングカンパニー）など社会福祉法人の経営力、企業力の強化が示された。

社会福祉法人の存在意義が問われる今日、いずみの園では前年、名称を「中津総合ケアセンターいずみの園」と変更し高齢者、児童、障がい者の地域コミュニティの拠点化を目指した。社会保障（福祉）の大変革期の中で、10年後のいずみの園をイメージしつつ策定された「いずみの園新5か年プラン」は3年目に入る。前年スタートした障がい者就労継続支援事業シャロームは順調に推移しており、本年は県市の協力を得て、画期的な共生型事業「福祉の里センターサマリア館」を建設する。国が2025年完成を目指す脱病院、脱施設の「地域包括ケアシステム」はモデル事業をさらに推進し24時間在宅サービス、認知症高齢者対策の充実を行う。また、県の要請を受け小規模多機能型居宅介護事業の推進、質の向上を図るため事業者連絡会の発足の役割を果たす。介護保険施行後15年、今日まで職員全員が積み重ねてきた「いずみの園ブランド」「ファーストコールカンパニー」の確立を図る。

### 重点課題

1. 共生型「福祉の里センターサマリア館」の建設
  - ・高齢者、障がい者、子ども、母親のよりどころ
  - ・全国的モデル
2. 地域包括ケアシステムの推進
  - ・医療（医師）との連携
  - ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業（24時間サービス）の充実
  - ・複合型サービス（小規模多機能型居宅介護＋訪問看護）の研究
  - ・大分県小規模多機能型居宅介護事業者連絡会の立ち上げ
3. 障がいサービス事業の充実
  - ・職場（メンテナンスなど）開拓
  - ・グループホームの研究
4. 地域支援事業、認知症対策の推進
  - ・認知症対策推進5か年計画
  - ・認知症地域支援推進員
  - ・地域ケア会議
  - ・地域資源の開発、ネットワーク化
5. 法人本部機能、経営企画室
  - ・事業団各事業所の連携、調整
  - ・事業団全体の財務管理、経営分析 適正利益
  - ・収益事業の研究

## 2013年度 第5回理事会・第4回評議員会が 3月25日に開催されました。

3月25日（火）10:00から、2013年度最終の理事会・評議員会が開催されました。

まず、理事会において新評議員について、谷直美さん（いずみの園オリーブズマン）が理事会の同意を得て決定しました。

また、評議員会では、故稲益一男前評議員に対し追悼の黙祷に始まり、役員人事として東島勇気理事の辞任の申し出について報告され承認されました。

続いて、審議議案として、①2013年度補正予算案  
②2014年度事業計画 ③2014年度予算案 ④定款の変更 ⑤規程改正 について、評議員および理事全員の賛成で承認されました。

今回、退任されました東島理事のこれまでの法人運営へのご貢献に対し、厚く感謝申し上げます。

（法人本部事務局）

### 人事異動

2013年12月1日以降

#### ① 異動役職者

2月 1日付	大木本侑子	介護保険サービスセンター	主任
	大島 伸城	介護保険サービスセンター	主任
4月 1日付	山田 幸治	法人本部事務局	次長（経営企画室付き）

#### ② 異動一般職

1月 1日付	平井 宣道	管理課	庶務
4月 1日付	北古賀美香	中央サポートセンター	介護員
	魚住美佐子	デイサービスふれあい館	介護員
	岡崎 真理	かきせグループホーム	介護員
	馬場 理恵	かきせグループホーム	介護員

#### ③ 新採用

12月24日付	長末 直美	介護保険	介護支援専門員
1月 6日付	三ツ廣百代	訪問介護課	ヘルパー
1月 8日付	有馬 利江	聖愛ホーム	介護員
2月 1日付	篠崎 照子	看護課	看護師
	辛島 省三	管理課	庶務
3月 1日付	柴田 美保	デイサービスかきせ	介護員
	中川寿美子	ピーター	指導員
3月10日付	尾白 靖恵	介護課	介護員
	山田 浩美	介護課	介護員
3月17日付	林 佳美	かきせグループホーム	介護員
4月 1日付	吉田友里恵	エマオ	社会福祉士
	田邊 佳矩	介護課	介護員
	工藤 一憲	介護課	介護員
	石川 楓	介護課	介護員
	今吉なる実	介護課	介護員
	植山 香織	かきせグループホーム	介護員
	南 采香	リハビリ課	作業療法士
	阿部 光則	いずみの森	夜警
	豊田 篤志	訪問介護課	ヘルパー
	矢頭 昭一	管理課	夜警
	窪田奈穂美	訪問介護課	ヘルパー
4月 7日付	青柳 裕子	介護課	介護員
	千々岩あゆみ	看護課	看護師
4月16日付	山村 京子	財務課・管理課	事務員

（以上2014年4月16日まで）  
（総務部）

# 特集「中間管理職講座」

## 「みんなで学ぶ中間管理職講座Ⅰ(課長篇)」前期講座

回数	日付	講座内容	講師
第1回	5月16日	いずみの園の中長期経営戦略と中間管理職育成について	富永 理事長
第2回	5月23日	中間管理職って何?	法人本部事務局長
第3回	6月13日	人事・労務及び会計・財務管理について	総務部長
第4回	6月28日	①社会福祉法人の使命・役割と経営	法人本部事務局長
		②リーダーシップ	在宅支援サービス事業部長
第5回	7月11日	①マーケティング、問題解決とモチベーション	特養事業部長
		②リスクマネジメントとサービス管理	デイサービス事業部長
第6回	7月29日	①行政の仕組み・意思決定システム	法人本部事務局長
		②建物・設備管理、情報	総務部次長
第7回	8月1日	①職員研修、福祉サービスの評価	研修センター長
		②キリスト教社会福祉事業の歴史と理念	聖愛ホーム長
第8回	9月5日	会社の「活力」を生み出す7つの視点	会計事務所税理士
第9回	9月12日	①広報活動、個人情報、地域との連携	かきざサポートセンター長
		②福祉施設における権利保護	法人本部事務局長
第10回	9月27日 ～9月28日	①中間管理職講座Ⅰ(課長篇)全体講評	富永 理事長
		②私の企業及び社会福祉法人の経験から	県内リゾート施設副院長

## 「役に立つ中間管理職講座Ⅱ(主任篇)」前期講座

7月18日～10月25日 全7回実施

### 後期講座 (後期第1回～10回は課長篇、主任篇合同開催、第11回は主任篇のみ)

回数	日付	講座内容	講師
第1回	11月6日 ・8日	プロとしての仕事意識	経営企画室課長
		『無社協経営支援セミナー』伝達研修	
第2回	12月3日	介護現場のリスクマネジメント ～裁判例で求められる介護水準～	法律事務所 弁護士
第3回	12月12日 ・13日	事業分析パターンを学ぶ 『福澤経営塾』伝達研修	総務部次長
第4回	1月9日 ・16日	戦略科学・組織戦略 『福澤経営塾』伝達研修	総務部次長
第5回	1月27日	会社を強くする3つのステップ	会計事務所 税理士
		財務管理・分析及び予算作成	総務部長、次長、財務課長
第6回	2月3日	わが部の課題と強み・弱みを語る①	各部(センター)長、 各担当課長、主任
第7回	2月18日 ・20日	わが部の課題と強み・弱みを語る②③	
第8回	2月28日	わが企業経営と経済人から見た福祉	中津市商工会議所前会長
第9回	3月3日	2014年度の経営基本方針	富永 理事長
第10回	3月17日 ・20日	業務改善・応用編	相談課主任、介護課主任
		『無社協経営支援セミナー』伝達研修	
第11回	4月4日 ～4月5日	①中間管理職講座Ⅱ(主任篇)全体講評	富永 理事長
		②私の企業経験と社会福祉法人経験から	県内リゾート施設副院長



主任篇の講座の様子

④講義内容を多角的になるよう財務、経済、組織戦略などに広げた。  
⑤司会や進行を講座事務局員で進め、手作り感を出そうとしたこと。

(経営企画室 課長 末延政光)

「中間管理職講座」を受けて、中間管理職としての役割を再確認するとともに、求められているもの、大きさを実感しました。日常の業務として部下の育成や日々の業務の中で、どれだけ組織に貢献できているかということにはあまり意識していませんでしたが、意識しなければならぬことだと思いました。

### 受講者の感想

いずみの園では2013年度、「中間管理職講座」を行いました。「いずみの園新5か年プラン」の1つに、「中間管理職の育成」があり、また2013年度重点事項として、「管理職の育成研修の実施」が挙げられました。それを受けて昨年5月から「みんなで学ぶ中間管理職講座Ⅰ(課長篇)」、「役に立つ中間管理職講座Ⅱ(主任篇)」と題してそれぞれ講座を行いました。

「中間管理職講座」はいずみの園の10年後を見据えての人材育成として企画し、主任以上の54名を対象とし、①社会福祉法人経営管理論、②リーダーシップとチームワーク、③経営マネジメント・リスクマネジメント・地域貢献、④各部署の強み・弱み、⑤今後の経営戦略などについて行いました。講師には理事長、部次長の他、外部の講師(中津商工会議所前会長、弁護士、税理士)も招き、課長篇は20回、主任篇は18回の講座を行いました。

課長篇前期第1回と主任篇後期第11回の理事長の講座より

課長篇前期第1回の内容

第1回として、理事長から10年後を担う人材育成の重要性、わけても第1線のマネジメントを行う課長への期待を込めて、いずみの園の開設35年のこれまでの歩みと今後の10年後の展望を中心に、「旧来にとらわれず、清新で柔軟な思考と実行力を発揮してほしい」・「10年後にどんな自分になっているかを想像し、そのための人間力や見識を磨いていって欲しい」などこの講座への期待について2時間の講義でした。



課長篇前期第1回目の様子

主任篇後期第11回の内容

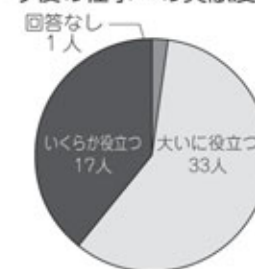
「皆さん主任クラスは10年後を担う人材であり大いに期待している。私も理事長として20年後の人材にも責任を持たないといけないので、昨年度1年かけてこのような「講座」を企画してもらった。「いずみの園」の明日を創るのは自分達だという気構えで今後頑張ってください。」など主任への期待についての講義でした。

講座運営で考慮した事項

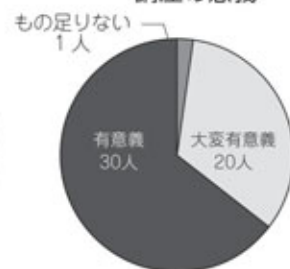
- ①事務局をもち、6名は男女・各職種・年齢・職場経験を加味して構成し、節目節目で議論しながら運営に当たった。
- ②中間管理職なので、なるべく業務の影響が小さくなるよう出席しやすい開催に努めたこと。(原則毎月1回、主任は2回に分けて選択制)
- ③講師は身近で、当園の部次長がかならず1回は行い、外部講師も市内でかつ福祉の分野への理解がある人に依頼した。

### 中間管理職講座終了時アンケート

#### 今後の仕事への貢献度



#### 講座の意義



# いずみの園広場

## ご利用者ご家族の声



かきぜグループホーム

松本國子様のご家族

長松 洋征様

91歳の義母が「かきぜグループホーム」に入所して3年半が経過しました。

最初の頃は、新しい環境に馴染めずに不安な様子でしたが、その後、この生活に順応でき、落着いて毎日を過ごしています。これも、施設の職員の皆様の献身的な支援の賜物だと心より感謝しております。入所前、義母は私たちの毎日の見守りと、「デイサービスかきぜ」の利用により、何とか一人で生活ができていました。

88歳も過ぎ、そろそろ、その生活も無理ではないかと思っていた矢先に、妻が緊急に入院しました。途方に暮れていた折、ケアマネジャーや関係の方々のご尽力により、何とか、この施設に入れて頂き、ピンチを乗り越えることができました。

暇を見つけては面会に出向きますが、スタッフの入所者への対応の仕方には、いつも頭が下がります。食事の世話、自由時間での支援、声掛け等、どの場面でも職員の皆様の介護への姿勢が浮き彫りにされています。この優しさの根源はどこにあるのでしょうか。

先日、知り合いの歯科医が、「私も老後は、かきぜグループホームに入りたい。」と話していました。義母の歯の治療のため、同行して頂いた職員の母への心遣いに感動されたようです。

私も70歳が近づき、自身の老後を真剣に考えるようになりました。受け皿として、「かきぜグループホーム」のような素晴らしい施設が増えることを心より願っています。



## ご利用者ご家族の声



聖愛ホーム

佐伯米子様のご家族

落合 節子様

### 母の自立

今、流行語のようにいわれている「復興」という言葉が、そのままではまるような時代、大正、昭和、平成と戦後という大変な時、日本の復興世代をくぐり抜け、今年94歳になる母が、聖愛ホームに入所してから早や10年目を迎えようとしています。自分の自由、思考などなく家族の為に働き、様々な苦労、子育てなど、フツと息をついた時は80歳を過ぎていました。いつも母の口癖が「自立」という言葉でした。言葉を実践するように縁あって、「聖愛ホーム」に入所できた事をもとても喜んでいました。私自身も前理事長の多田先生が講演の中で「子供叱るな通った道、年寄叱るな通る道」との言葉が、高齢者と接する時の課題でもありました。入所してからの母は家族の心配を背に、青春と背中に羽根が生えたように、一日一日を楽しく謳歌しているようでした。絵日記を書き、読書をし、研修センターでの講座の参加、自分で考えた縫い物（一針一針）を手縫いした作品作り、又イベントなどへの参加、そして毎日美味しく頂く食事と、多岐にわたり家族が出来ない事をスタッフの皆さんが携わって下さり母に大きな気力と勇気を出させてくれました。しかし、近頃は体調も以前に比べて、少し弱ってまいりましたが「病は気から」と申しますので持病との付き合い方と母自身が気力を出すように、家族はもちろん後押しします。がこれまで同様に大なるスタッフの皆様のお力添え、元氣、笑顔をよろしくお願い致します。

